

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和04年10月31日

計画の名称	大規模盛土造成地の耐震化の促進(防災・安全)													
計画の期間	令和02年度～令和02年度(1年間)										重点配分対象の該当	○		
交付対象	鬼北町													
計画の目標	愛媛県における大規模盛土造成の調査・公表に示された、鬼北町内の2箇所を対象に大規模造成地変動予測調査の第二次スクリーニング計画を実施することによって、今後の第二次スクリーニングの必要性を判断し、災害の未然防止及び被害の軽減を図る。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		3	A	3	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和2年度		令和2年度
1	鬼北町において大規模造成地変動予測調査の第二次スクリーニング計画を実施し、第二次スクリーニングを実施する判断材料とする。 第二次スクリーニング計画の作成(造成年代調査、優先度評価等)をおこなう。	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	鬼北町	直接	鬼北町	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査(鬼北町)	大規模盛土造成地の安全性確 認調査(第二次スクリーニン グ計画の作成)	鬼北町	■					3		-
		全体事業費 2,615千円																	
											小計						3		
											合計						3		

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
社会資本整備総合交付金事業の事後評価として鬼北町で実施	令和4年10月
	公表の方法
	鬼北町ホームページで公表
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	第一次スクリーニングにより明らかになった大規模盛土造成地について、対象地の変動予測調査（造成年度調査、現地調査、優先度評価）を実施し、第二次スクリーニング計画を検討して住民等へ情報を提供することにより、地震等による災害の未然防止や被害の軽減に寄与する。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○ 特記事項（今後の方針等）	
対象地の第二次スクリーニングを計画し、防災意識の向上を図り、地震等による災害の未然防止や被害の軽減につなげる。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	